

フレームカラー：S(ステン)
 付属部品：カバー止めタッピングビス
 アンカー用寸切ボルト
 アンカー用六角ナット
 アンカー用平座金

1. 本体の面板のセット方法

<p>本体から、柱カバーをとりつけている小ネジのフランジジットを+ドライバーではずして柱カバーをとりはずします。</p>	<p>パネルのカバーフレーム側のビスを外します。</p>

	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うら側の面板は後で取り付けます。 ・面板の交換がある場合は両面テープでなく、ビス止めして下さい。 		
<p>カバーフレームを外して面板にソフト貼り込みなどの加工をします。</p>	<p>両面テープで面板をパネルフレームに固定し、カバーフレームを取り付けてベースにセットします。</p>	<p>柱カバーを先にとりつけてあった通りに小ネジをフランジジットで固定してからうら側の面板をパネルフレームに両面テープで固定します。</p>	

2. 本体と柱を取り付けます

<p>柱のフタを外し、柱の溝に本体の柱カバー部分をスライドして入れ、取り付けます。</p>	<p>柱にフタを取り付けます。</p>
---	---------------------

3. 柱にアンカーを取り付けます

		<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土質を考慮し、基礎コンクリートの大きさは状況に応じて施工下さい。 ・水平・垂直を調整後、コンクリートを流し込んで下さい。
--	--	---

長円支柱補強柱・アンカー取り付け方法 (オプション) ※本体に柱を取り付ける前に行ってください。

<p>長円支柱補強柱を柱に差し込み、ネジで固定します。</p>	<p>カバーを入れた後、長円支柱アンカーを図のようにセットし、付属のナットで固定します。</p>
---------------------------------	--

お取り扱い上のご注意

- 組立は取扱説明書に従い、安全に留意して行って下さい。**
 - ・組立は大切なものや家具等から離れた場所で行い、フレームの落下や転倒に十分ご注意ください。(重量物の組立は2人以上で行うことをおすすめします。)
 - ・ビス(ボルト)・ナット等は正しいものを使用し、確実に締め込んで下さい。ゆるんでいるとフレームの落下や転倒の原因となります。
- 屋外向き仕様ですが、環境条件にご注意下さい。**
 - ・この商品は屋外向き仕様になっていますが、劣悪な環境はなるべく避けて設置下さい。
- 屋外に設置する場合、ソフトは防水仕様のもので使用下さい。**
- 設置場所にご配慮下さい。**
 - ・人通りや周囲の状況に配慮し、安全な場所に設置して下さい。人が当たると、けがをしたり、衣服を損傷したりすることがあります。
- 設置場所の土質・状態をご確認下さい。**
 - ・重量・風雨に耐えられる基礎を施工して設置下さい。(※設置の不備による事故については、責任を負いかねます。)
- 各地区の法定基準に従って下さい。**
 - ・設置場所・高さなど法定基準を設けている地区があります。必要に応じて各種申請など法的手続きを行って下さい。
- フレーム切り口や角部は鋭利ですので、取り扱いにご注意下さい。**
 - ・手などを傷つける恐れがあります。また、フレームの角に人が当たると、けがをしたり、衣服を損傷したりことがあります。
- 定期的に点検して下さい。**
 - ・本体と柱のジョイント部分(取り付け金具・ビス等)のゆがみ、ガタつき、錆、腐食等の異常がないかを点検し、異常がある場合は交換して下さい。
- 定期的に清掃して下さい。**
 - ・フレーム及び本体と柱のジョイント部分周辺はほこりがたまりやすく、放置していると衣服や床を汚すことがありますので定期的に清掃して下さい。
 - ・柔らかい布を水でしめらせ、よくしぼってふいて下さい。金属磨き、サンドペーパー等は表面をいためます。
 - ・殺虫剤をかけたり、シンナーやベンジン等揮発性のあるものでふいたりしないで下さい。変色、変質の原因となります。

<p>注意</p>	<p>フレーム切り口は鋭利ですので、手などを傷つけないよう、取り扱いにご注意下さい。</p>
------------------	--